

## 早生品種の出穂期は、平年より2日程度早い見込み(6/18現在)

### 〔出穂期予測〕

移植後の日平均気温などから出穂期を予測すると、早生品種、コシヒカリ共に平年よりも2日程度早いと予想される。

## 1 出穂期予想 (6月18日現在)

| 熟期<br>(田植時期)  | 品種名   | 出穂期<br>(予想) | 穂肥時期(出穂前日数) |         |      |      | 合計施肥量<br>(N kg/10a) |
|---------------|-------|-------------|-------------|---------|------|------|---------------------|
|               |       |             | 1回目         |         | 2回目  |      |                     |
| 早生<br>(5/5頃)  | 五百万石  | 7/21        | 7/1         | (20)    | 7/9  | (12) | 1～2                 |
|               | ゆきん子舞 | 7/22        | 6/28～6/30   | (25～23) | 7/8  | (14) | 6                   |
|               | こしいぶき | 7/26        | 7/3         | (23)    | 7/12 | (14) | 2～3                 |
| 中生<br>(5/10頃) | こがねもち | 7/30        | 7/12～7/15   | (18～15) | 7/20 | (10) | 1～3                 |
|               | コシヒカリ | 8/ 6        | 7/19～7/22   | (18～15) | 7/27 | (10) | 1～3                 |

※出穂期は気象条件で大きく変動するので、今後の情報に注意するとともに、穂肥の施用に当たっては、各ほ場の幼穂を必ず確認して施用しましょう。

※施肥量は一般栽培の目安であり、生育状況に応じて時期や量を調整しましょう。

※基肥一発肥料の場合でも、葉色低下が進むと予想される場合は、後期栄養確保のため出穂期前10日頃を目途に追加穂肥を施用しましょう。

## 2 早生品種の穂肥施用のポイント ～遅れず適期に施用～

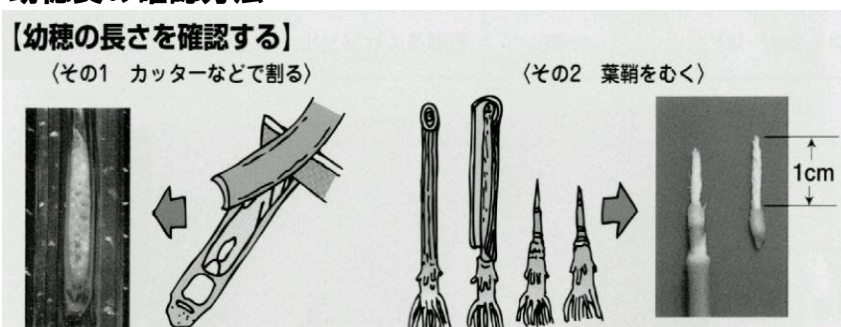
- 早生品種の1回目の穂肥施用は、収量確保のため適期を逃さず確実に実施しましょう。
- 生育量が極端に大きく、倒伏が懸念される場合などは、遅め控えめの対応としましょう。

### 幼穂長と出穂前日数の目安

| 出穂前日数(日) | 幼穂長(cm) |
|----------|---------|
| 24       | 0.1     |
| 20       | 0.2～0.4 |
| 18       | 0.5～1.0 |
| 12       | 4.0～6.0 |

※ ほ場内の平均的な株の最も長い茎から3～4本を抜き取り測定する。

### 幼穂長の確認方法



(参考) 出穂前日数とイネの外観

## 3 中干し終了後の水管理 ～大ヒビ厳禁！ 間断かん水や飽水管理へ～

- 田面に大ヒビが入ると根を傷めたり、登熟期の老化が進みやすくなり、品質低下につながりやすくなります。
- 中干し後は、間断かん水や飽水管理で土壌水分を上手に確保しましょう。